

看護学科

1 年

科目名: 基礎看護学実習 I				担当教員 氏名: 高田 亮子 他					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	専門科目	実習	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			看護は、既習学習を実際の医療現場で応用しながら、個別の対象がもつ問題に対応できる力を学ぶものである。自己学習能力を強化しつつ、自ら創造性のある学びができるよう、教員と指導者からの助言を得ながら学習が進められる方法としている。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
病院での実習を通して医療施設と医療従事者及び患者の生活の概要を知る。また、生活行動に障害のある入院患者の生活援助の実際を学び、今後の学習へのイメージ形成と動機付け強化をねらいとする。(臨地実習)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の概要</li> <li>・医療従事者</li> <li>・基礎看護技術</li> <li>・生活行動援助技術</li> </ul>				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 9					
A 知識・理解力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習病院の特徴と地域における役割を述べるができる</li> <li>・病院に働く人々とその役割について述べるができる</li> <li>・看護師として必要な知識・技術・態度についてイメージする</li> </ul>							
B 専門的技術		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院患者に提供されている生活援助項目を見学・一部実施できる</li> <li>・バイタルサイン測定の基本的方法が実践できる</li> </ul>							
C 論理的思考力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の入院前の生活と入院後の生活の違いについて述べるができる</li> <li>・患者の現在の生活における不都合について述べるができる</li> </ul>							
F チームワーク・リーダーシップ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループメンバーと協力して実習を進めることができる</li> </ul>							
H コミュニケーション力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院職員や受け持ち患者と良好な人間関係を築くことができる</li> </ul>							
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	%
特記事項: 以下により総合的に評価する。 ・出席状況 ・実習記録類 ・課題レポート ・実習中の学習態度 * 提出物は期限を厳守すること。 * 原則として遅刻、欠席は認めない。									
アクティブラーニング要素: 課題解決学習 (ディスカッション、ディベート) (グループワーク プレゼンテーション) 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 担当教員が毎日記録や学習状況を確認し指導を行い、内容および取り組み									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
1年次 前期 1単位 : 45時間				学習内容		学習に必要な時間(分)			
実習施設: ・厚生連高岡病院 ・高岡ふしき病院 ・射水市民病院 ・済生会富山病院 ・金沢医科大学氷見市民病院 ・西能病院 ・真生会富山病院 ・富山西総合病院 * 詳細については実習要項に記載				<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定の事前学習内容について記録用紙に記録する</li> <li>・生活行動援助技術の修得</li> </ul>		【予習】 60分 【復習】 60分			
使用テキスト:				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 看護は実践の学問といわれます。基礎的知識をもとにした応用力が求められます。実際の現場から、知識を関連させられる力が持てるよう能動的な学習姿勢をもって臨んでください。学習や記録の仕方、患者さんや実習施設職員との関わり方等、知識・技術・態度について考える実習としてください。学習管理力として、まずは自らの体調管理、時間管理ができるコントロール力をつけてのぞみましょう。									